

しまだ議会だより

Shimada City Council Newsletter

平成30年2月定例会の内容をお届けします。

2018
No. 63

平成30年5月15日発行



特集

地域おこし
協力隊
&
市議会



特集

地域おこし 協力隊 と 市議会

伊久身地区

かとう じゅん 加藤 潤さん 名古屋市から
あべ ただし 安部 正さん 横須賀市から

川根地区

むらまつりょう たらう 村松 遼太郎さん 焼津市から
さとう ひろゆき 佐藤 洋行さん 川崎市から

にお話を伺いました。



地域おこし協力隊の皆さん

豊かな自然 温かい人たちに囲まれ

この地に住み続けたい

「島田市地域おこし協力隊」の皆さん

は、都市部などから川根・伊久身地区へ移住し、地域活性化の活動に取り組んでいます。隊員は1〜3年間島田市に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や農林産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を目指しています。

《島田市へ来たきっかけは何ですか?》

- 妻が島田市の出身で、月に1回くらいの割合で実家に来ていて良い所だと思っていました。インターネット関連の仕事をしていましたが、人生の可能性を広げたいと思い応募しました。
- 静岡県は良い所だと思っていました。田舎暮らしに憧れていました。
- 福祉関係の仕事をしていましたが、30

歳の時に仕事を離れました。川根地区のことは以前から関心がありました。

- 川崎市で13年間システムエンジニアをしていましたが、人と関わる仕事をしたいと思っていました。

《どのような活動をしていますか?》

- 週2回、川根小学校で地域コーディネーターをしています。地域の人たちと



も協力して、今年は卒業式にこいのぼりをあげることができました。
 ● 山の家でのコンサートを企画運営しています。

● 抜里駅舎跡での高齢者の居場所づくりに参加しています。

《楽しかったことは何ですか?》

● 伊久身のお祭りで、隊員2人でコントや歌を30分間披露しましたが、刺激的で楽しかったです。

● コックの経験があったのでサタデーオープンスクールで子どもたちに料理を教えたのが楽しかったです。

《今後は何をしたいですか?》

● 光通信網が整うので、伊久身地区でIT関係の仕事に関わっていきたいです。
ほだいさんひのきらげ
 ● 菩提山の松峠で天空のイタリアンカフェを開きたいと思っています。

● 移住定住事業の企画に参加したいです。
 ● 各種インストラクターの資格を取りキャンプ場を開設したいと思っています。

今後の皆さんの活躍を

大いに期待しています。

議会も応援していきます。

定例会 の 概要

平成29年度一般会計補正予算9億3938万円を増額
平成30年度当初予算全会計786億1723万円

第2次島田市総合計画の策定について ほか可決

平成30年第1回定例会が、2月16日(金)から3月27日(火)まで40日間の会期で開催されました。

2月16日(金) 本会議初日 5議案上程 議案質疑 議員2人が登壇

市長専決処分による報告3件と、平成29年度補正予算(一般会計1件、特別会計3件)のほか、条例廃止案1件が上程されました。

議員2人が登壇し、議案の詳細について市当局に質問しました。

2月19日(月)・2月20日(火) 常任委員会の議案審査

厚生教育・経済建設・総務生活の各常任委員会が、それぞれ半日ずつ分散開催し、平成29年度補正予算ほかの議案の審査を行いました。

2月27日(火) 本会議 5議案可決 追加29議案上程

2月16日に上程された5議案の全てを可決しました。
平成30年度当初予算(一般会計1件、特別会計8件、公営企業会計2件)のほか、条例案14件、一般議案4件が追加上程されました。

3月7日(水)～9日(金) 一般質問 議員17人が登壇

3会派の代表議員による代表質問と議員14人による個人質問を、一問一答により行いました。

(11～19ページ)

3月12日(月) 議案質疑 議員13人が登壇 追加4議案上程

議員13人が登壇し、議案の詳細について市当局に質問しました。条例改正案2件、一般議案2件が追加上程されました。

Pickup1～4へ(5ページ)

3月13日(火)～15日(木) 常任委員会の議案審査

厚生教育・経済建設・総務生活の各常任委員会が、1日ずつ分散開催し、付託された議案の審査を行いました。

(8～10ページ)

3月27日(火) 本会議最終日 追加2議案上程 35議案可決

3常任委員会での審査内容と結果について各委員長が報告し、議員延べ10人による討論が行われました。採決の結果、33議案はそれぞれ可決されました。

市長専決処分による報告3件、一般議案2件が追加上程され、議員1人が登壇し、報告の詳細について市当局に質問しました。採決の結果、追加上程された2議案は全員賛成で同意されました。

さらに、特別委員会の設置を可決しました。

(20・21、23ページ)

Pick up 1 新庁舎等整備基本計画の 今後は？

Q 審議会委員はどのような人か。

A 学識経験者や各種団体の代表者、公募市民ら15人である。

Q 今後の進め方は。

A スタート時期は夏以後。半年間で6回程度開催予定である。

Q 市民の意見をどう反映するか。

A ワークショップやアンケートを考えている。

Q プラザおおるり、新市民会館の関連はどうか。

A 旧市民会館が担っていた役割や、プラザおおるりの今後の在り方など、市内の文化施設全体を考慮し検討しなければならない。

Pick up 2 介護保険料の 引き上げの理由は？

Q 引き上げの理由は何か。

A サービス体制の充実と、国が定める65歳以上の介護保険料の負担割合が1パーセント引き上げられたこと。支払い準備金の取り崩し額が減少したことである。

Q 改定はどのような内容か。

A 平成30年度から3年間、現行の基準月額4550円が5100円になる。

Pick up 3 検診や糖尿病予防への 取り組みは？

Q がん検診や特定健診の推進はどのように行っているか。

A 平日受診できない人のために、土日に集団検診を行っている。総合がん検診は、特定健診と同時実施や託児サービスを行っている。いずれの検診も個別検診と集団検診の設定があり、受診率の向上に努めている。

Q 糖尿病予防への取り組みはどのようなものか。

A 一定数値以上の人に自己負担なしのアルブミン測定を行い、早期発見につなげている。重症化予防のプログラムを作り、保健指導を行っている。

Pick up 4 コミュニティバス 運行の今後は？

Q 毎年2億5000万円を費やしている。向こう4年間の計画は。

A 利便性向上のため、軽微な変更を行いながら運行していく。現時点では、抜本的に見直す計画はない。将来は、自治会やNPOなどによる自主運行、タクシーを使った運行など、さまざまな手法を検討していく必要があると考えている。

これに注目!!



平成30年度 島田市会計予算を可決しました

新市民病院建設と新東名インターチェンジ周辺開発事業が始動!

一般会計予算

382億1,500万円
(前年度比16億500万円増)

特別会計予算
企業会計予算

404億 223万円
(前年度比10億2,799万円増)

総額予算

786億1,723万円
(前年度比26億3,299万円増)

平成30年度に行う事業の予算案が市長から議会に示され、3月13日～15日の3日間に開催された3つの常任委員会で審査した結果、「可決すべき」と決しました。(P8～10)

これを踏まえ、3月27日の本会議最終日に予算案が原案のとおり可決されました。その一部を抜粋し紹介します。

民生費 33.9% 129億5,320万円

| | |
|-------------|------------|
| 児童福祉費 | 63億7,577万円 |
| 社会福祉費 | 53億3,858万円 |
| 生活保護費・医療福祉費 | 12億3,843万円 |



ゆりかご保育園の皆さん

子ども・子育て支援事業推進

小・中学生入院費の無償化。
民間保育所、幼稚園および認定こども園に対する施設給付・補助金を拡充します。

公債費 12.3% 47億1,131万円

公債費 47億1,131万円



一般会計市債借入残高の推移

借金の返済の推進

歳出総額の12.3%にあたる費用を借金の返済に充当していきます。

※数値は、端数処理で調整してあります。

衛生費 12.0% 45億8,006万円

| | |
|-------|------------|
| 保健衛生費 | 26億 849万円 |
| 清掃費 | 19億7,157万円 |



総合がん検診・予防接種のお知らせ

健康管理の充実事業推進

感染症予防費・健康診査・がん検診・妊婦健診等の予防検診の拡充で健康管理の充実をします。

土木費 11.2% 42億8,711万円

| | |
|---------|------------|
| 道路橋りょう費 | 17億4,897万円 |
| 都市計画費 | 17億3,663万円 |
| 土木管理費 | 3億3,405万円 |



上空からの内陸フロンティア推進区域

新東名島田金谷IC周辺整備推進

新東名島田金谷IC周辺内陸フロンティア推進区域整備事業・賑わい交流拠点の整備事業が進められます。

教育費 10.6% 40億4,486万円

| | |
|----------------|------------|
| 保健体育費 | 15億1,274万円 |
| 社会教育費 | 10億1,850万円 |
| 幼稚園費・小学校費・中学校費 | 10億6,402万円 |



現島田第四小学校

小学校・中学校の施設を充実推進

第四小改築に要する費用、伊太小屋内運動場耐震補強、大津小屋内運動場地震対策・トイレ改修、川根小プール改修、第二中トイレ改修等整備します。

総務費 9.6% 36億6,959万円

| | |
|---------|------------|
| 総務管理費 | 26億3,717万円 |
| 徴税費 | 4億3,396万円 |
| 交通安全対策費 | 3億5,834万円 |



島田市役所玄関で活躍するペッパー

情報通信技術（ICT）の進展と人材育成推進

ICTで人の流れを呼び込む教育・産業づくりを推進、協働のまちづくりの推進で人材育成を推進します。

特別会計 215億5,418万円

| | |
|---------------|------------|
| 国民健康保険事業特別会計 | 96億8,083万円 |
| 介護保険事業特別会計 | 81億4,622万円 |
| 後期高齢者医療事業特別会計 | 12億 947万円 |
| その他5特別会計 | 25億1,766万円 |

企業会計 188億4,805万円

| | |
|--------|-------------|
| 水道事業会計 | 17億5,271万円 |
| 病院事業会計 | 170億9,534万円 |

常任委員会報告

島田市議会には3つの常任委員会があり、議員は必ずいずれかの委員会に属し、議案審査に当たります。2月定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

厚生教育常任委員会

田代の郷多目的スポーツ・レクリエーション広場

整備事業始まる！

平成30年度 一般会計予算

●産後ケア事業

Q 事業の内容は。

A 産後において家族の援助等が受けられず、支援を必要とする母親および乳児に対して産後のケアを実施する事業で、母親の身体的な回復と心理的な安定を促進し、母親自身がセルフケアの能力を育んで、母子やその家族が健やかな育児ができるよう支援するということを目的としている。

●金谷小学校校体育館雨漏り修理

Q 修理完了までのスケジュールは。

A 来年度設計をして、再来年度に工事に入る計画だが、設計が早い段階で済

んだ場合には、来年度中に補正予算での対応で修理に着手したい。

●田代の郷整備事業

Q どのような整備計画か。

A 事業期間は2力年を予定している。平成30年度は敷地造成工事や水道・電気などの埋設物の工事、側溝などの排水工、また舗装工事等を実施する予定。平成31年度は、アクティブプレイゾーンへの大型複合遊具等の設置やトイレ、あずまや、ベンチなどの施設工事、駐車場等の舗装工事、植栽ならびに市民参加による芝生の植えつけを実施する予定。これらの工事費は2力年で4億1750万円を見込んでいます。

Q 利用数の見込みは再検討したのか。

A

こども館と図書館に親子連れで来ている方に直接アンケートを取り分析した結果、当初の8万人からそれほど変わらないと推測している。

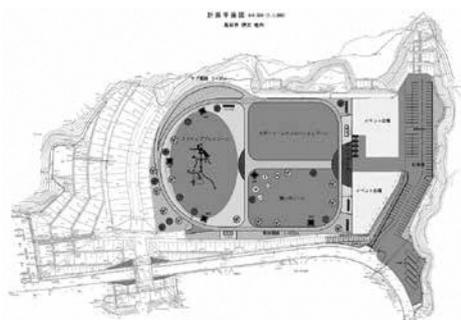
平成30年度島田市

病院事業会計予算

●新病院建設事業費

Q 新病院の建設事業費は総額で約234億円ということだが、平成30年度の建設に係る予算は幾らか。

A 新市立島田市民病院工事監理業務委託費2100万円と新市立島田市民病院建設工事費22億1500万円である。



田代の郷整備事業計画平面図

進む観光施設整備

島田市の活性化に生かせるか

平成29年度

一般会計補正予算

●内陸フロンティア推進区域整備事業

A Q 経費の減額理由は何か。
堤間地区の用地費および物件補償費の減額だが、地権者が譲渡所得の特別控除が受けられるメリットを考え、島田市土地開発公社による買収に変更するためである。

平成30年度 一般会計予算

●島田の逸品事業

Q 今回、予算が倍増になった。どのような事業をするのか。

A 逸品の見直しの年であるため、15品目を選定し直

し、パンフレット等の作り直しをする。また、「静岡おみや」という首都圏商談会に参加する費用である。蓬萊橋の茶屋でも販売する。

●ビジネススクール運営事業

Q 誰が対象になり、狙いは何か。

A 企業の経営者、起業・創業を考えている方を対象に島田の産業のリーダーを育てるのが目標。

●オリンピック・パラリンピック合宿経費

Q 平成30年度はいつどのような内容で行うのか。

A 11月に17日間、監督・コーチも含め最大23人のモンゴルボクシングチームが合宿を行う。宿泊費、食費、移動費が対象である。

●賑わい交流拠点整備事業

Q 平成30年度の事業内容とスケジュールは。

A 歩道橋に1億円、高架下駐車場に9900万円、周辺道路整備に9400万円、その他の調査費に513万円余で合計3億7500万円である。用地取得は平成30年度末完了を目指し、前述の工事は平成30年秋に着手し2力年で完了予定である。

●防災施設・資機材整備事業

Q 整備予定のドローンの活用方法は何か。

A 災害時には情報の収集に、平常時には橋の点検などに使う。現在数人の職員が操作講習を受けている。

川根地区広域施設組合の解散に伴う財産処分について

Q し尿処理施設「グリーンピュア川根」の処分における課題は何か。

A 施設を解体するときの費用をどう分担するかが課題だった。今後の使用した量を加味した上で島田市と川根本町の将来負担を考え、清算していく結論となった。



蓬萊橋897.4茶屋オープン

笑顔あふれる 安心のまち 島田

「第2次島田市総合計画」初年度が始まる

平成29年度 一般会計補正予算

Q 田代環境プラザガス化溶

融炉施設の点検整備委託の費用が毎年あるが、変動が大きい。どのような方針でやっているのか。

A 現在13年目を迎えている。92億円かけて作った施設であるので、平成47年度まで使っていきたい。延命化は20億円ほどを考慮しており、消耗度、運転に

対する重要度などを勘案しながら毎年整備計画を立てている。

平成30年度 一般会計予算

●シティブロモーション推進事業

Q 島田市緑茶化計画の今後の計画はどのようになっ



ハヶ岳リゾートアウトレットの様子

ているか。

A 体験プログラムを実施することや「メインビジュアル」の作成を委託する。

●空港周辺プロジェクト推進事業

Q アウトレットができる旧

金谷中学校跡地利用のスケジュールはどのようになっているか。

A 3月22日に優先的交渉権

者との基本協定を締結し、早ければ6月定例会で土

地の賃借についての議案を提出したい。2021年3月までに事業を完了する予定である。

●新庁舎等整備基本計画
審議会委員報酬

Q 現在行われている基本構

想検討委員会から審議会への流れはどのようになっているか。

A 検討された基本構想をも

とに審議会を開き、基本計画を作成していく。

Q 市民協働とよく言うが、

まずは行政が方針を持って進めていくことが大切ではないか。

A 新しい意見を聞くため

でありアイデアをもらっている。最終的には市で決定する。

第2次島田市総合計画

Q 総合計画の進捗状況を報

告することが条例で決まっているが、報告はどうなっているか。

A P D C Aサイクルに基づ

く進行管理、評価をし、かりと行い報告していく。総合計画を立てて3年後

Q 総

計画にまた市長選挙がある。市長が代わった場合でも、これを踏襲してやっているのか。

A 基本構想は変わらない

と思っている。今の市長も当選したときは、前の市長のときに策定したものを踏襲している。基本計画の部分は新しい考え方を途中から盛り込むことが可能である。

市長に質す！
ただ

一般質問

Q&A

市の方針や市民の皆さんの生活に関する大切な内容全般について、市議会議員が市長や執行機関に「一般質問」を行います。

島田市議会2月定例会では、3議員が会派の代表として質問を行う「代表質問」を、14議員が個人質問を行いました。全議員が一問一答方式（議員が一つの質問をし、市長等も一つずつ答弁する方式）を選択し、代表質問は60分、個人質問は50分間の制限時間の中で質問を行いました。

興味を持った質問はありますか？

一般質問全文を掲載した会議録と録画映像は、ホームページに掲載しています。

録画映像はパソコンのほか、スマートフォンやタブレットでも見ることができます。

このQRコードからどうぞ！



用語解説

「縮充」

今号で使用している「縮充」という言葉ですが、「真に必要な施策・事業を選択し、資源を集中させて市民の幸福度を上げていく、量から質への転換」を指して市長が施政方針で取り扱った言葉です。

代表質問

賑わい交流拠点
身の丈の計画に！



きょうどう島田
もり しんいち 議員
森 伸一

Q マルシェの集客を年間140万人とした根拠は何か。

A 道の駅掛川（160万人）、焼津さかなセンター（170万人）を参考にした。内訳は島田市民88万人、観光客38万人、国道473号利用者14万人を合わせて140万人とした。

Q 賑わい交流拠点事業にかかる費用の総額はどれくらいか。

A 計画委託料2300万円、平成29年度委託料2500万円、用地・補償費・工事請負費・測量費12億円、歩道橋工事など3億7000万円で約16億円。この他マルシェなど建物の工事費がかかる。

Q 今回の事業目的は何か。

A 農業の振興と地域振興だ。

Q ほぼ同じ事業目的で平成27年にオープンした南アルプス市のマルシェ（完熟農園）は資金繰りに窮して、9カ月でつぶれた。資金難になった理由を調べたか。

A 準備不足によりオリジナルの商品がそろわない、主力商品である果物の不作に伴い品薄状態で、開業当初から赤字が続いたと聞いている。

Q 旧金谷中学跡地活用事業について、アウトレットなどの観光施設、健康維持施設の話が紹介されたが、マルシェへの影響は。

A 設置のコンセプトが違うので相乗効果を期待している。



破綻した南アルプス市のマルシェ跡

代表質問

平成30年度 施政方針を問う！



創造島田
しみずただし
清水唯史 議員

Q 選挙で示したマニフェストの自己評価をどのように行うか。

A マニフェストを織り込んだ総合計画の進捗状況を管理する中で、施策の展開と照合しつつ市民意識調査を実施し、自己評価する。

Q 総合計画に対する外部評価を取り入れる考えはないか。

A 他市の事例は把握しているが、取り入れる考えはない。

Q 新東名島田金谷インターチェンジ周辺への企業誘致体制は。

A 静岡県東京事務所に派遣経験のある職員が培った人脈・ノウハウを活用し誘致業務を遂行する。

Q 自治基本条例の制定の時期は。

A 議会への議案提出時期は未定であり、今後、自治基本条例制定委員会での協議・決定し、必要となれば補正予算で対応したい。

Q 障害者支援策として、耕作放棄地などの農地利用の考えは。

A 農業と福祉の連携として農業者と協力した障害者の工賃アップの取り組みを考えていく。



活用が期待される「リョクチャカカタログ」

Q 今後のシティプロモーションの取り組みは。

A 市内店舗から提案された緑茶メニューの専用ホームページでの紹介や「リョクチャカカタログ」の作成、新聞広告との連動などを、観光と併せて展開する。

Q 公共施設マネジメントの考えは。

A 総量見直しに向け、市民の理解促進、個別事案に係る合意形成を丁寧に進める必要がある。

代表質問

施政方針 机上の空論で終わらぬよう



さきかけ島田
ひらまつよし
平松吉祝 議員

Q 市長の平成30年度施政方針について「行政運営に適した人口規模」と言うが、どのような根拠で言えるのか。

A コストの観点から適正な人口規模は10万人程度から30万人程度とされていることから、適していると認識している。

Q 島田市は人口10万人に及ばず、面積比率の点から中山間地が多く地形も大井川を挟み、傾斜もある。現状ではとても適しているとは言いが、どう考えるか。

A 市はそのように捉えていない。こうした地理的環境の中に暮らす市民の顔が見える行政運営が可能になるという状況から、行政運営に適していると認識する。

Q 「縮充」という考え方を示しているが、机上の空論で終わらぬように具体的にどうしていくか。

A まちづくり市民ワークショップを新たに開催する。

Q 縮充という言葉で仕事を市民に転嫁させていないか。自治会は忙しく役員の引き受け手がない。社会福祉的なボランティアも後継ぎがない状況で苦慮している。その点はどうか考えるか。

A 住民から、地域は私たちが運営する、私たちが地域を変えていくという気持ちにならなければ、相変わらず行政に何もかもやってもらいたいとなり、それでは行政コストは下がらない。



素晴らしい考えも「机上の空論」ではNG！

個人質問

新病院建設工事

なぜ！低入札か？



やぎのぶお 八木伸雄 議員

Q 新病院建設工事の入札が大幅な低入札となった。予定価格が高すぎたのではないか。

A 公平公正に行われた結果だ。入札率を低くすれば問題なかった。

Q 私の調査では、オリンピック会場に近い千葉県の病院など数カ所で1ベッド当たり3000万円代。4000万円は高すぎだ。

A 県の積算単価を用いた結果だ。

Q 入札の結果、20億円下がった。私
が議会で言い続けてきた金額とな
ったことは評価する。市役所
建設など今後の教訓としてほし
い。工事の発注は地元30パー
セント発注すると聞いたが。

A 詳しい内容は施工者のノウハウ
を含むため公表は控えるが、受
注業者から地元調達率を工事請
負契約額の30・5パーセントに
するとの提案があった。

教職員の多忙化は？

Q 学校の教職員の時間外労働の実



周辺整備が始まった島田市民病院

態はどうか。

A 月平均で小学校約65時間。中学
校73時間である。夏休みを除い
た平均だとさらに多くなる。

Q 対策を取っているか。

A 市単独の教育支援員を各学校に
配置している。

Q さらなる増員を求める。部活動
も負担となっている。スポーツ
振興の在り方も検討すべきだ。
A 部活指導の補助員も増員し、顧
問の教師をサポートしていく。

個人質問

がん検診に

「女性限定検診日」を！



おおせききぬよ 大関衣世 議員

Q 健康経営を行うメリットは何か。
A 従業員に健康を意識してもらい
経営を安定させることだ。

Q 市の女性職員への健康経営に対
する取り組みはどうか。

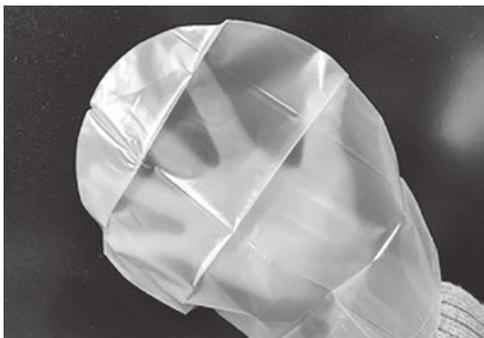
A 治療のための休暇や育児休業か
ら復帰する際の慣らし勤務等が
ある。4月からはテレワークの
整備もしていきたい。

Q 乳がん・子宮がんの受診率、ま
た今年度の目標および目標に向
けての取り組みは何か。

A 乳がん39パーセント、子宮がん
34パーセントであるが、目標は
いずれも45パーセント。受診で
ポイントが貯まる健幸マイレー
ジを使い勧奨している。

Q 乳がんの自己診断を「乳がんグ
ローブ」を使ってPRしたらど
うか。

A パンフレットや乳房モデルで対
応している。
Q 他市で効果が出ている、女医に
よる「女性限定の検診日」を設
けてはどうか。



自己診断用の乳がんグローブ

A 委託事業のため難しい面がある。

難病患者の支援について

Q 国や県、市などの支援の対象外
になってしまった人への対応は
どのような内容か。

A 多様な相談体制を設けている。
Q 市として経済的な支援を設ける
可能性はあるか。
A 国の支援制度を整えていくこと
が必要だと捉える。

個人質問

高い国民健康保険税の 引き下げを！



さかい ようこ 議員

Q 平成30年度から国民健康保険の
広域化が始まる。県は市が納め
る事業費の納付金額を決めるが、
それは幾らか。国保税の引き上
げはあるのか。

A 県への納付金は、25億6903
万9889円と算定された。現
行税率でも、納付金は足りると
見込まれるため、来年度の国保
税率はそのまま据え置く。

Q 高い国保税に悲鳴が上がってい
る。基金の取り崩しや一般会計
の繰り入れで、国保税を引き下
げるべきではないか。

A 基金の取り崩しによる一時的な
保険税の引き下げは適切ではな
い。一般会計からの繰り入れは
考えていない。

就学援助制度の充実を

Q 小・中学生がいる経済的に大変
な家庭に、就学費用の一部を援
助する就学援助制度があるが、
認定数、認定率はどうか。



市民が訪れる国保年金課の相談窓口

A 平成29年度2月末で、小学生3
68人（7パーセント）、中学生
248人（10パーセント）だ。

Q 入学準備金の入学前支給が求め
られていたが、どうだったか。

A 2月に小学新一年生48人、中学
新一年生57人へ支給した。

Q さらにクラブ活動費・生徒会費・
PTA会費も支給項目に加える
必要があるがどうか。

A 子どもの生活実態調査の結果を
踏まえて検討していく。

個人質問

やくな 897・4茶屋 周辺への効果を期待



むらた ちづこ 議員

Q 蓬莱橋897・4茶屋の概要、目
玉商品は何か。

A 市が施設の維持管理を行い、市
観光協会が運営する。島田の逸
品・お茶・オリジナル商品をメ
インにこだわったものを販売し
て情報発信につなげていく。

Q 右岸側の権現荘跡地に、「蓬莱橋
展望カフェ」設置の考えは。

A 今後の土地利用の動向にアイデ
アの一つとして受け止めたい。

Q お茶のお土産品目にドリップ式
のものを販売する考えはどうか。

A これからは、急須等を使わない
若者や外国人の増加が予想され
る。そうしたニーズ、状況を見
て検討していきたい。

Q ICT機器を活用した観光ツア
ーの企画は行わないのか。

A 平成30年度の事業として、GP
Sや多言語音声案内を活用し、
消費行動の仕掛けを検証予定。

文化資源を積極的に活用

Q コーゼンドルファー（ピアノの
世界的名器）音感無料体験」の
復活の考えはどうか。

A 内容を検討する中で判断したい。
以前提案した「かね桜まつり」
とベーゼンドルファー事業の連
携についての取り組みはどうか。

A 今回、4月1日に川根文化セン
ターにてプロによる音色を楽し
む鑑賞型の事業を計画している。
試行検証する中で、観光的視点
の研究も行っていきたい。



チェロとベーゼンドルファーによる春の調べ

個人質問

指定管理者制度の見直しを！



すぎの なおき 議員
杉野直樹 議員

Q 市はどのような理念で指定管理者に施設を管理してもらうことを望んでいるか。

A 施設の設置目的を効果的に達成すること、民間の能力を活用し住民サービスを向上させること、経費の削減を図ることを念頭に施設の管理をしてもらいたい。

Q ふじのくに茶の都ミュージアムは、施設の一部を民間業者に貸し出して家賃をもらうと聞いたが、市の公の施設を民間業者に賃貸で貸し出すことを考えたことはあるか。

A 施設の個別性に合わせ、指定管理者制度の施設貸し付けを含め、管理手法の検討が必要である。

Q 指定管理者制度は、民間の企業努力を衰退させる原因になっているのではないか。また、指定管理料により、必要最低限の収益を確保できているがために、発展的な努力をあえてやらなくなってしまうという可能性はないか。

A 利潤の追求を目的としている民間事業者は、さらなる収益を求め、発展的な努力をしていると考えている。

Q 県事業で、指定管理施設の管理応募者増を狙い施設紹介フェアを開催しているが知っているか。

A 応募者増を図る取り組みとして、効果が期待できるので、今後県において開催されるようであれば、参加を検討していきたい。

市内公共施設の施設管理者応募状況

| 応募者が1団体だった施設 | 応募者が2団体以上だった施設 | |
|----------------|----------------|-----|
| 東海道金谷宿お休み処 | 川根温泉ホテル | 7団体 |
| 川根温泉 | バラの丘公園 | 2団体 |
| ローズアリーナ | ブラザおおるり | 2団体 |
| 夢づくり会館 | 田代の郷温泉 | 4団体 |
| 川根文化センターチャリム21 | | |
| 野外活動センター 山の家 | | |

施設活性化のため管理者の応募者増が必要

個人質問

新たな集客施設の連携が必要



よこた がわまさ と 議員
横田川真人 議員

Q 賑わい交流拠点施設、旧金谷中学校跡地、ぴゅファイブのしまだ音楽広場、田代の郷多目的スポーツ・レクリエーション広場など、多くの集客施設が計画されているが、コンセプトは重複していないか。

A それぞれの計画でコンセプトは違う。

Q 需要見込みは。

A 賑わい交流拠点施設140万人。旧金谷中学校跡地70万人である。

Q 相乗効果があるならば、この予測を上回る集客効果があるということがあるか。

A そういった希望はある。

Q 島田市全体としてストーリー性を考え、各施設の連携を図ってほしい。

A ストーリーでつなげていくルールもぜひ研究したいと思う。

Q 光通信網、整備全域に

Q 平成30年度光ファイバ網整備事



旧金谷中学校跡地にはアウトレットモール

Q 業の5000万円までどこまで整備できるか。

A 平成29年度に整備できなかった地域全域である。

Q 無線ではなく光ファイバーケーブルの整備でいいか。

A 有線で整備する予定である。

Q 工事が早めに進めば供用開始が早まることはあるか。

A 順調に行っても供用開始は平成31年3月である。

個人質問

委託料の見える化 効果・評価判定は



おおむらやすし
大村泰史 議員

Q 業務委託の現状はどうか。

A 平成30年度一般会計予算中、14パーセントを占め、総額56億9875万7000円である。

Q 委託効果をどう評価しているか。

A 契約書、発注仕様書ほか関係書類に基づく検査を行い適正に履行されたかを確認している。

Q 今後の委託の取り組みはどうか。

A 発注時の業者選定は入札等による公平性、透明性の確保に努め、効率的な行財政運営の観点から外部委託の推進を検討していく。

Q 市内業者への優先的な発注の仕組みはどうか。

A 島田市地元企業優先発注等に係る実施方針を定め、適正な競争原理のもと公平性を確保した上で地元企業への優先発注を推進している。

Q 委託業務の適正な履行をチェックする体制の構築が必要では。

A 評価する仕組みづくりは非常に重要な課題と考える。

森林整備と森林環境税

Q 森林所有者が不明な土地への取り組みはどうか。

A 林地台帳整備事業により所在地や所有者を把握していく。

Q 森林環境税への取り組みは。

A 具体的な事業内容や運用、指針、事業費の配分等が明らかになつてから、取り組み方法を検討することになる。



大木と生い茂る木々

個人質問

賑わい交流拠点の 生産体制は？



そねよしまさ
曾根嘉明 議員

Q マルシェを支える生産者の確保は大丈夫か。

A 大井川農協で農家を対象に説明会を実施している。出荷を促す新たな支援策も検討中である。

Q 今のまんさいかんで20億円稼ぎマルシェで20億円稼ぐには、今の倍生産者を育てなければならぬが検討しているか。

A 賑わい交流拠点施設の実施計画を策定しているところだ。

Q 若い農業者に生産の依頼をしているが手応えはあるか。

A 大井川農協と積極的に参加を促進していきたい。

Q 出荷者数やマルシェの目玉商品については実施計画で示すか。

A 採算が合う供給体制も検討しており、結果についても載せるべきと考える。

風水害の避難対応は

Q 台風接近による風水害に対応するタイムラインの作成は。



J Aおちいまばり「さいさいきて屋」

A 避難情報の発令時に着目したタイムラインは策定している。

Q 避難情報の発令のタイミングの工夫はどうしているか。

A タイムラインを活用し、早い段階から自治会長に電話し、明るいうちに避難するなど、地域の特性に応じた工夫をしている。

Q 急傾斜地のハード事業の達成率はどうか。

A 整備率は約41パーセントとなっている。

個人質問

市営住宅の 需要予測減少は本当か？



ふじもとよしお 議員
藤本善男

Q 市が保有している市営住宅への入居状況はどうなっているか。

A 市営住宅数は16団地325戸、入居戸数は248戸である。

Q 耐震化、長寿命化の対応は。

A 昭和46年度以前は耐震補強工事を完了。昭和47年度以降の6団地は長寿命化をし、元島田、三ツ合の住宅は取り壊し予定だ。

Q 今後の市営住宅の需要はどうか。

A 単身高齢者等の入居希望が増え、若い子育て世代は減少。今後の需要は減少すると考えている。

Q 国は公営住宅の需要は増加すると見ている。市の将来需要を減

少と見込んだ根拠は何か。

A 現在入居の高齢者はいずれ亡くなり、若い入居希望も減少していることから、減少と予測した。

Q 潜在的な需要も想定してほしい。

A 新たな市営住宅は考えていないようだが、将来的な市営住宅偏在への対応はどうするのか。

A 家賃補助や民間住宅の借り上げなどを調査・研究していきたい。

雇用好転を誘致に生かせ

Q 市内雇用情勢の推移はどうか。

A 雇用情勢は回復状況にあるが、

求人と求職が思うようにマッチングできていない状況がある。

Q 今後は、工場さえ誘致すれば人

もついてくるという状況にならない可能性もあるのでは。

A 進出していただく企業には、事務職の地元雇用も依頼したい。



最後の市営住宅となるか（市営大草住宅）

個人質問

島田市民病院 経営の健全化対策は



かわむらはるお 議員
河村晴夫

Q 島田市病院事業会計損益計算書を確認すると、平成28年度末欠

損金が65億9500万円発生している。この状態を打破していく方策はないか。医療従事者不足の影響はあるのか。

A 医療従事者、特に医師の不足は

患者数の減少および医業収入の減収につながる。

Q 医師の働きやすい環境整備の必

要性はあるのか。

A 医師の確保には医師住宅の充実、院内保育園の整備、医療秘書の配置など働く環境の整備が不可欠である。

Q 医業収益の拡大について、外来・

入院患者一日当たりの単価をアップできないのか。

A 外来・入院診療単価を目標値に必ず達成することは非常に難しい現状である。

Q 病床の稼働率を上げることが収

入を改善する最善の効果ではないか。

A 稼働率を上げるということは病

院の収支を好転させる非常に大きな要因であるが、当院は島田地域の救急車を96パーセント受け入れている。さらに急性期病棟・療養病棟・回復期病棟もあり難しい。

Q 医業費用の削減の考えはあるか。

A 費用削減の主な対象は材料費と経費である。コンサルタントも

交えて積極的に価格交渉を行い削減に努めている。



改築間近の島田市民病院

個人質問

まちづくりは
ソフト事業が中心



さの よしひろ 議員

Q 平成21年度を目標年次とした中心市街地活性化計画が終了し、

既に10年間の経過が過ぎた。新たな計画を策定するに当たり、これまでとの違いや計画概要を伺う。

A 計画期間をこれまでの10年間から5年間に短縮。前計画エリアはJR島田駅北側47ヘクタールとしていたが、新たな計画では駅南側を含めた110ヘクタールに拡張する。

Q 駅南にある民間の工場跡地の活用と旧計画エリア内で、手付かずの本通五丁目以東の再開発計画をどう考えるか。

A 工場跡地問題について、企業側と情報を交換しているが、具体的な計画は決まっていな。また、五丁目以東について、これまでのような区画整理事業は難しい。これからのまちづくりはソフト事業が中心となる。住民との合意形成ができれば支援策を講じる。

庁舎立て替え事業費は？

Q 庁舎立て替え構想と期待される国の補助メニューを伺う。

A 本年1月末に、メンバー15人で周辺整備基本構想検討委員会を立ち上げた。建設場所は現在地、建物は免振工法を採用、坪単価を約150万円と見込む。床面積は1万1500平方メートル、事業費は約52億円で整備に対する国の補助メニューはない。



活性化が望まれる本通り商店街

個人質問

未然に防げ！
詐欺被害！



よこやまかおり 議員

Q 島田市のはがきによる架空請求詐欺の被害状況はどうか。

A 被害は昨年1年間で1件。相談件数は86件と多い状況である。

Q 当市における詐欺被害で一番多い事例は何か。

A オレオレ詐欺が一番多い。なお、高校の同窓会名簿を使用したと思われる事例が多い。

Q オレオレ詐欺が多いことに対して市が行っていることは何か。

A 同報無線を使った注意喚起の広報。迷惑電話防止装置設置事業を実施している。

Q 迷惑電話防止装置とはどのようなものか。

A 高齢者のいる世帯を対象に現在使用中の電話機に機器をつなぐだけでブロックするシステム。今年は6月に周知を行いたい。

取り組もう！介護予防！

Q 現在「しまトレ」は何力所で行っているか。

A 市内で26力所である。
Q 今回の総合事業の見直しで変わったところはどこか。

A 地域で自立した日常生活を送ることを目的とした見直し。具体的に通所介護から地域主体の取り組みに円滑に移行推進。またケアマネジメント強化において理学療法士が初期のアセスメントに関わっていく取り組みを考えている。



昨年の迷惑電話防止装置のパフレット

個人質問

災害時要支援者の
支援は万全か？



やまもとたかお 議員
山本孝夫

Q 現在、島田市では災害時避難行
動要支援者（重度障害者や重度
要介護者等）7912人を対象
としている。乳幼児や市外から
の通勤通学者、観光客など支援
を必要とする配慮者は、どの程
度と想定しているか。

A 最大3万人以上と見積もる。

Q それだけ多くの配慮者がいると
いうことを避難所を運営する
人々に伝えているのか。

A あらゆる場で数字を挙げて説明
をしている。

Q 避難行動要支援者の個別計画を
作る際、個人情報提供を拒否し
ている人々の災害時の取り扱い
はどうするのか。

A 同意の有無にかかわらず避難準
備情報を出す段階で情報を公開
するように自主防災会等に伝え
ている。

Q 昨年の法改正で、災害時浸水想
定区域における避難計画等の策
定が義務付けられているが現状
はどうか。

A 来年度、早い時期に施設を指定
し計画策定に着手してもらおう。

Q 要配慮者が利用する施設が被災
した時はどこに避難するのか。

A 各施設管理者が決める。

Q 自治会長等地域の役員は2年置
きに入れ替わる。防災リーダー
等も含め地域に防災団を作って
災害時の対応をしようというこ
とはできないか。

A 総合的に検討・研究したい。

| | |
|--------------|---|
| 避難行動 要支援者 | 災害時に自ら非難することが著しく困難であるもので、名簿を作成し避難支援を行う対象者。一般に言う要介護者、障がい者。 |
| 避難行動 要配慮者 | 避難行動要支援者のみならず、避難途中に障害等を負い、非難支援が必要となった者、また避難後に避難所等での生活に支援が必要となった者。要支援者を含め外国人、幼児等、高齢者、病人、観光客、外部から来た就労者など。 |
| 避難支援者 | 消防機関、自主防災組織、民生委員等地域における支援者。 |
| 福祉避難所 | 高齢者、障がい者等何らかの特別な配慮が必要な者を収容する施設。高齢者障がい者福祉施設の他、児童福祉施設、宿泊施設なども含まれる。 |

災害時使用する用語の整理

個人質問

森林整備と
地元産材の活用は



さいとうかずと 議員
齊藤和人

Q 間伐や竹林の整備などの森林保
全は行われているのか。

A 森林づくり県民税を財源とした
「森の力再生事業」を活用して実
施している。

Q 島田市木材需要促進対策奨励金
とはどのようなものか。

A 大井川流域産材を使用した木造
住宅を新築する人に奨励金を交
付するもので、上限50万円とな
っている。

Q 木材利用につながる取り組みは。
東京都港区の事例で「みなとモ
デル二酸化炭素固定認証制度」
や「F i n e t大井川」へ加盟
して販路拡大に努めている。

Q 小学校の机・椅子を地元産材で
作る考えはないか。
A 値段のことや使いづらさの課題
もあるが、研究していく。

観光による活性化策は

Q 通過型から滞在型の観光へとは。
観光協会の組織を強化して、パ

Q ラグライダー体験などの観光プ
ログラムを作り、プランを旅行
会社に売り込んでいく。

Q 来年は「島田大祭」の年である。
それを担う青年が減少してい
ると聞くと対策はあるか。

A 「島田大祭」は今まで、観光客に
見せる祭りというよりも、自分
たちが楽しむ祭りであった。大
祭保存振興会と、これからの課
題について共通認識を持って取
り組んでいきたい。



来年は「島田大祭」の年です



ザッ 討論



市議会定例会最終日に行われる議案採決の前に、賛成・反対の意見を表明する「討論」を行います。
2月定例会では、6議案について延べ11人の議員が賛成・反対の意見を表明し討論を行いました。

【議案第6号】平成30年度島田市一般会計予算

反対

コスト削減と称して、官から民へ公務の市場化が進められている。公立保育園で半数を占める臨時保育士の正規化を求める。
新規採用職員を増やし、4割を占める非正規職員の待遇改善を求める。
予算は今本当に必要とされている医療・介護・子育て支援等の福祉に重点を置くべき。一般会計から繰り入れ、国保税や介護保険料の引き下げを。高校生までの医療費無料化や認可保育園への待機児童対策等に力を尽くせ。

賛成

当予算案は施政方針で掲げられた3つの重点政策に関連する事業に対して積極的に予算配分されており、社会経済情勢の動向や国・県の施策等への適切な対応、健全な財政運営に努める方針で編成されていると考える。平成30年度一般会計予算で執行する諸施策、諸事業についても、質の高い市民サービスの提供とその効率的・効果的な執行に努めること、事業の評価指標を定期的に示すことを要望し賛成討論とする。

【議案第12号】平成30年度島田市介護保険事業特別会計予算

反対

歳入において、65歳以上の介護保険料の引き上げの下に執行される予算で容認できない。介護保険制度は改悪続きだ。要支援者へのサービスは、市が行う総合事業に移行したが、受け入れ体制が十分整わない中、逆に従来の利用より事業費は増大した。特養ホームの待機者はゼロというが、入所要件を介護度3以上と厳しくした結果だ。国は介護の自立支援に軸足を置く方向だが、市の事業が「保険あって介護なし」とならないよう求める。

賛成

当市の高齢化率は30パーセントを超え、介護サービスを利用する要支援・要介護の認定率は12.4パーセントと制度発足当時から4.5ポイント増となっている。歳入予算の増額は平成30年度から3年間の介護保険事業の見通しを踏まえ法令に基づき必要額を算出した結果であり、被保険者数等を考慮して計上したものである。地域包括ケアシステムの構築、強化、介護保険制度の持続可能性の確保を念頭に編成されたものであると考える。

【議案第14号】平成30年度島田市後期高齢者医療事業特別会計予算

反対

反対の理由は、後期高齢者医療保険料の引き上げの下での予算だからだ。所得割は据え置き、均等割を3万9,500円から4万4,000円に引き上げる。県全体で、一人当たりの保険料は年間6万4,973円となり、2,239円の負担増だ。75歳以上になると、それまで加入していた公的医療保険から強制的に脱退させ、高齢化で医療費が掛かれば際限なく保険料が引き上がる後期高齢者医療制度は廃止し、元の老人保険制度に戻すべきだ。

賛成

当予算案は後期高齢者医療制度を適正に執行するため、静岡県後期高齢者医療広域連合議会が十分審議し議決された内容に基づくものである。保険料率の改定も、歳出では被保険者数の増加、一人当たりの医療費の上昇による保険給付費の増加が見込まれ、歳入では保険料の上昇を抑制するため、平成29年度末決算譲与金や財産安定化基金を財源とするなど、高齢者の負担軽減や低所得者に対する一定の配慮がなされていると考える。

【議案第24号】 島田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について

反対

すでに実施された国家公務員の退職手当の引き下げに倣って、調整率を百分の87から百分の83.7にすることは容認できない。島田市の平均的定年退職で試算すると、約73万円の引き下げだ。官と民の均衡確保を退職手当の支給基準にすることは、公務運営の公正中立性の確保、厳しい再就職規制と退職後も課せられる守秘義務、雇用保険の適用がないなどの公務の特殊性をないがしろにするもので、到底容認できない。

賛成

今回の条例改正は、平成29年4月に人事院から出された民間の退職金、企業年金の調査結果、国家公務員の退職給付に関わる見解を踏まえて行われた国家公務員退職手当法の改正に準拠するものである。県内では県や政令市を含む全ての自治体で同様の改正が行われており、また地方公務員法にのっとったものであり、条例改正は民間や他の自治体とのバランスを考慮した上で必要なものであると考える。

【議案第27号】 島田市介護保険条例の一部を改正する条例について

反対

4月から65歳以上の介護保険料の基準月額を4,550円から5,100円に引き上げることに反対する。介護保険料の12パーセントもの負担増は、年金生活を圧迫し、医療や介護サービスの利用抑制も招きかねない。介護保険制度が始まって19年目だが、3年ごとの見直しのたびに連続引き上げだ。根本的には国や自治体の公費での負担割合を増やさないと保険料の引き上げは繰り返される。一般会計の繰り入れや低所得者への減免制度の拡充を求める。

賛成

当予算案は第7期介護保険事業計画の策定に伴い、平成30年度から3年間の保険料率を設定する条例改正で、年額を定める保険料率を所得段階別に変更するものである。保険給付費と地域支援事業費の見込額は特別養護老人ホームや軽費老人ホームの新設などで介護サービスの提供体制が充実したこと、地域包括ケアシステムの構築・強化とともに進められる在宅医療の推進など、必要な費用を見込んだものであると考えられる。

【発議案第1号】

特別委員会の設置について

反対

1月に非公式の場において、特別委員会を設置したい旨の話が議長からあった。設置の強い思いがあるのなら、案件を出す前に各会派に思いを伝えた上で説明を行い、議員の意見を聞くことが非常に重要だと考える。いきなり案件を出されては、どう判断していいか、さまざまな悩みもある。しっかりした手順を踏まえた中で提出されることが非常に大事だと考え、反対する。

【採決結果一覧】 賛成・反対の分かれた6議案の結果を掲載しています

| 氏名 | 大村 | 河村 | 齊藤 | 横山 | 伊藤 | 森 | 山本 | 藤本 | 八木 | 清水 | 村田 | 曾根 | 平松 | 大関 | 横田 | 杉野 | 桜井 | 佐野 | 大石 |
|--|---------|----|----|----|------|----|----|--------|----|----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|----|
| | 泰史 | 晴夫 | 和人 | 香理 | 孝 | 伸一 | 孝夫 | 善男 | 伸雄 | 唯史 | 千鶴子 | 嘉明 | 吉祝 | 衣世 | 川真人 | 直樹 | 洋子 | 義晴 | 節雄 |
| ○=賛成 ×=反対 | きょうどう島田 | | | | 創造島田 | | | さきがけ島田 | | | 無会派 | | | | | | | | |
| 【議案第6号】 平成30年度島田市一般会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| 【議案第12号】平成30年度島田市介護保険事業特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| 【議案第14号】平成30年度島田市後期高齢者医療事業特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| 【議案第24号】島田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| 【議案第27号】島田市介護保険条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| 【発議案第1号】 特別委員会の設置について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※議長（福田正男）は採決には加わりません。（並び順は会派ごとの議席順） ※「無会派」とは、会派に属さない議員のことです。

調査報告

経済建設常任委員会

先進事例から運営のヒントを学ぶ

● 11月13日 愛知県新城市

道の駅 もつくる新城

新東名高速道路新城インターチ
エンジンに隣接立地し、平成26年3
月に道の駅「もつくる新城」がオ
ープン。平成28年度の来客数は1
45万9000人、年間総収入は
4億7400万円で、奥三河の観
光ハブステーションとして地域観
光の案内をしつつ、地域産物を主
とした物販とユニークなメニュー
をそろえたレストランが好評を得
ています。

またETC2・0による高速道
路一時退出の社会実験の取り組み
状況を伺い、利用数や問題点など
を調査しました。

● 11月14日 岐阜県美濃加茂市

かわまちづくり事業

木曾川や中山道の地域資源を観
光やまちづくりの核として活用し
にぎわいのあるまちづくりを目指
して、平成22年度から計画をスタ



にぎわう道の駅もつくる新城の様子

ート。平成27年度からは木曾川の
ほとりにある中之島公園を人々が
水辺や森などの自然を親しむ場と
して整備を進めています。管理は
市民ボランティアが自主的に活動
しているとのことでした。

今回の視察は所管する担当課職
員も同行し、当委員会と情報共有
ができ、これから進められる販
交流拠点施設整備、蓬萊橋周辺
整備の取り組みに参考になるもの
となりました。

調査報告

議会運営委員会

議会改革とICT化の先進地に学ぶ

● 11月10日 沖縄県那覇市

議会改革とICT機器導入

那覇市では、議会改革推進組織
として「議会改革部会」でICTの
導入と政務活動費の使途基準、「広
報企画部会」で議会報告会の開催、

「政策検討部会」では議員提案の政
策づくりの取り組みを行っていま
す。視察では、「めんそーれ那覇市
観光振興条例」制定までの取り組
みや第五次総合計画基本計画素案
に対して議会の関わりなどについ
て説明を受けました。議会のICT
化は特にタブレット端末導入を
議員全員が協議し決め、ペーパー
レス会議等の導入を図っていまし
た。

● 11月11日 沖縄県南城市

議会でのICT機器活用

南城市では、ICT機器の導入
について議会や庁内の会議で使用
する紙資源の削減、会議事前準備
等の負担軽減などを図る目的で、



ICT化が進む那覇市議会

平成27年から議員全員による、研
修から導入への取り組みが始まり
ました。現在では、29種類の会議関
連資料がペーパーレス化され、今
後も段階的に進められていくとの
ことです。

島田市議会においても、議会か
らの条例制定の発議、庁舎建て替
えにおける全庁的なICT化に備
えた準備を議会自らが行う必要性
を感じました。

特別委員会の経過を 中間報告しました



議会改革に関する特別委員会

以前の「議会改革に関する特別委員会」が提言した内容や課題等を踏まえ、正副議長の選出方法の検証や議会の会議での情報通信機器の使用、議会報告会の在り方について調査・研究をしてきました。今定例会では、議員個人が所有する情報通信機器を「島田市議会に

おける情報通信機器の使用基準」をもとに平成30年6月定例会から本運用すること、議会報告会でいただいた建設的な意見を事後検討会等を経て政策提言すること、ペーパーレス会議に向けたタブレット研修を開催することについて議長に提言しました。

政策条例制定に関する特別委員会

当特別委員会では、議会に与えられた大きな権利である政策条例の制定に向けた検討を重ねてきました。

行い、議員が条例案を提出しやすい環境を整備するための仕組みの検討を行ってきました。

市における性質別条例の種類や、策定作業の進め方などのレクチャ―を受けるとともに、理念条例や予算・罰則を伴う条例などの作成作業を行う上での注意点や課題など、政策法務担当を講師に研修を

先進事例として静岡県議会の条例制定までの流れを視察し、島田市の事務局体制を考慮しながら、島田市に適した制定までのフローチャートを作成、今定例会で報告しました。

特別委員会を設置しました

平成30年2月定例会最終日の3月27日に「島田市役所周辺整備に関する特別委員会」を設置することが決まりました。

島田市役所周辺整備に関する特別委員会

市役所は市民にとって利便性のある窓口サービスのほか、災害時の活動拠点として重要な施設です。市役所新庁舎等の整備は今後の市の重要な施策であると考え、議会としても調査・研究を行います。

- | | |
|--------|-------|
| 【委員長】 | 大石 節雄 |
| 【副委員長】 | 森 伸一 |
| 【委員】 | 杉野 直樹 |
| | 藤本 善男 |
| | 村田千鶴子 |
| | 伊藤 孝 |
| | 山本 孝夫 |



昭和37年に建設された島田市役所本庁舎

議会活動レポート

島田高校放送部の皆さん 「声の議会だより」作成ありがとう！！

島田市議会では、目の不自由な方のために議会だよりの音声ガイドを作成、配布しています。3月16日に、議会だよりの音声ガイド作成に協力いただいている島田高校放送部の皆さんに、お礼に伺いました。当日は、顧問の森田先生と放送部の生徒2人に迎えていただきました。島田高校放送部は、先輩からの伝統を引継ぎ校内での放送やイベントでの司会進行など精力的に活動しており、現在は5月に開催されるNHKの放送コンテストに向けて練習を頑張っているとのことでした。議会だよりの録音については、言葉の意味やイントネーションが難しいとの感想をいただきました。編集する立場として、若い世代にも読んでもらえるように努力していかなくてはいけないと感じました。今後もよろしくをお願いします。



編集後記

茶畑の新芽、大井川の柳、木々の若葉。島田のまちがもえぎ色に包まれる季節になりました。議会だより63号をお届けします。2月定例会は、17人の議員が代表質問・個人質問に登壇し市政について活発に議論しました。議案質疑や各常任委員会の審査では、新規事業や前年度比で増額や減額になった事業について、市民のための予算になっているかをチェックしました。今号も議会の様子を「読みやすく、わかりやすく」皆さまにお伝えしていきます。



議会だより編集に関する特別委員会

- 【委員長】 桜井 洋子
- 【副委員長】 伊藤 孝
- 【委員】 大関 衣世 河村 晴夫
- 齊藤 和人 大石 節雄

6月市議会定例会傍聴のお知らせ



議会を聴きに行こう！議会をオンラインで見よう！

傍聴をご希望の方は、議会開催日に市議会議場(市役所3階)へお越しください。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------|-------------------------------|--------------------------|------------------|-------------|---------------|----|
| 5/27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 6/1 | 2 |
| | | | | | 本会議 (初日) | |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| | 本会議 (一般質問・個人) | 本会議 (一般質問・個人) | 本会議 (一般質問・個人) | | 本会議 (議案質疑) | |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| | 常任委員会 (午前・厚生教育 午後・経済建設) | 常任委員会 (午前・総務生活 予備) | | | | |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| | | | | 議会運営 委員会 | 本会議 (最終日) | |

☆開会時間は…
本会議 午前9:30
常任委員会 午前9:00 午後1:30

あなたのパソコン・スマホで、オンラインでも傍聴できます。
水色のラインで示された日には、インターネットでの生中継を行います。